

# ほけんだよい 2月号

2月3日は「節分」です。漢字で書くとおり、季節の  
 分かれ目という意味です。季節の変わり目には、悪い鬼  
 が現れるという言い伝えから、鬼を追い払う行事が行わ  
 れるようになりました。節分の豆まきも、その一つです。

鬼とは、病気や悪いできごとのことです。季節の変わ  
 り目は気温が変わりやすく、からだの調子を崩すこと  
 も多いので、気をつけようという意味もあるように



## インフルエンザに注意！！

こんなマスクのつけ方  
 していませんか？



1月のなかばからインフルエンザに  
 かかる人が増えてきました。

外から帰った時、食事の前  
 には、「手洗い・うがい」を

忘れずにしましょう。マスクで  
 予防をしている人も多いのですが、  
 きちんとつけないと役にたたず  
 もったいないですね。



## マスク、きちんと使えていますか？～正しいつけ方～



①マスクの表裏を確  
 認して鼻の部分  
 を指で押さえ、鼻の  
 形に合わせます。

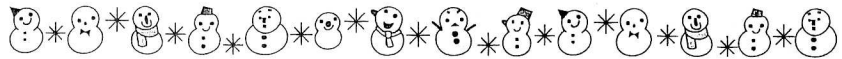


②マスクの下の部分  
 を引き伸ばし、あ  
 ごまで隠れるよう  
 にします。



③両手でマスクを押  
 さえ、顔にぴた  
 りしているかどう  
 かたしかめます。

※マスクをつける前はしっかりと手を洗い、顔に合ったサイズを選びましょう。



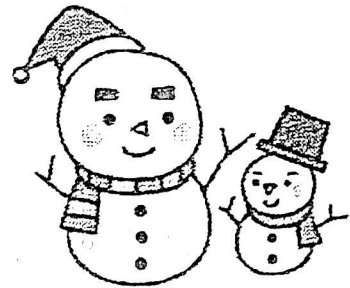
インフルエンザが猛威をふるった1月でした。インフルエンザにかかった人、学校を休んだ人、早退した人、学級閉鎖になったクラス、どれも近年になく多い数になりました。仲町小だけではなく、近隣の学校でも同じような状況だったようです。

1月半ばからは、毎日インフルエンザや発熱の人数が増えていくので、朝はハラハラしながら出欠の集計をしました。また、朝から体調不良で来室する児童が多く、次々とお迎えに来ていただいた日もありました。ベッドどころか、座る場所もない程多くの児童であふれる日もありました。ほとんどの子が「だるい…」「頭痛い。」と言い、検温すると高熱！というケースが多かったのですが、熱はさほど高くなくてもだるいので受診してみたらインフルエンザだったという報告もありました。このような状態だったので、インフルエンザが流行っている間は通常よりも軽症（微熱）でも早めにお迎えを頼むことにしました。

1月に出席停止の病気で欠席したのは、インフルエンザ309人、流行性耳下腺炎（おたふく）11人、水痘（水ぼうそう）5人、アデノウイルス感染症2人、溶連菌感染症1人、感染性胃腸炎1人でした。インフルエンザにかかった人が桁違いに多くみられ、それに伴って16学級が学級閉鎖になりました。

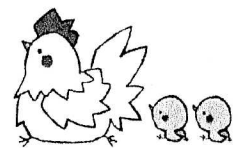
「お父さんがインフル。」「ママがおとうととねてる。」家族でインフルエンザにかかったという話を児童から聞くことも多々ありました。おうちの方が病気になると、子供は心細くなるようです。

まだまだ寒さも続きますが、無理のないよう体調管理には気をつけましょう。



## 着信の確認をお願いします

お子さんの体調が悪くなり、お迎えに来ていただきたい時に、電話連絡がなかなかつながらないことがあります。仕事や用事で外出されている時は、できるだけ携帯電話の着信を確認していただくようお願いいたします。



## 給食のアレルギー対応

先月、「アレルギー疾患問診票（説明書と問診票の2部）」を、1～5年生に配布しました。給食対応を希望される方には書類をお渡ししますので、かかりつけの病院で受診して記入をお願いしてください。

練馬区では、毎年年度末にアレルギー疾患の把握をすることになっておりますが、急に新たなアレルギーが発症した場合は、すぐに担任にご連絡ください。